

# 勉強の基本

ケニー・ゲリアント

勉強というものを聞くと何を思い浮かべるだろうか。「勉強は本を基にして学ぶことだ」と考える人がいる一方、「勉強は楽しく、勉強によって知識を広げていくものだ。」と思う人もいるだろう。私にとって勉強は大切な人の将来は勉強如何で決まると言っても過言ではないのである。それでも、「勉強」の本格的な意味はそれだけなのか。私が勉強の5つの大切な意味に気がついたのは4年前のことだった。それは高校2年生の時だった。9人のクラスに入った私はある日早起きをし、いつもより30分早く登校することにした。クラスに入ると、なんとそこにはすでに私の一番賢い友人がいたのである。Aさんにしておこう。彼は、と90以上の点数を取っていたばかりか全国の物理学の競争に出る度に勝利を手に入れ、クラスの希望の星と呼ばれていたのである。「おはようございます」と彼に

挨拶をしたが、彼は怒りそうな顔をし、私を見ることすらしなかつたのである。まごまごした私は何もせず、腰を掛けた。1限目から8限目まで授業が行われた。1限目と2限目は数学の授業だった。2限目に入ると、一つの頭に来る事件があった。それはAさんが失礼極まりない言い方で先生に質問したからだ。「ほら、もっと丁寧な言い方で聞かなければいけないよ」と私が注意しても、「それはあんたに関係ない」と返事されてしまったのである。どうしても許せないほど私は悔しかったのである。次の日に私は彼を許そうとしたものの、結局無視されるしまつた。堪忍袋の緒が切れたのである。やはり彼は頭がいにくせに、煩わしいことをするのが嫌いなのだ。その時から私は勉強の別の意味に気がついたのである。勉強とは知識を得ることだけでなく、態度の教育も重要だということである。これはみんなが勘違いしている点である。教育制度においても人に接する態度について

の教育はあまり重視されていないようだ。その結果として、他人に対する行儀を気にしない人も結構いる。私が強調したいのはたとえ一番賢い人であれ、誠実な態度がないと無意味だということである。これが一つ目だ。

そしてその時に人間性のなっていないAさんになんか負けたくないの、私はクラスで1位を目指す決心をしたのである。それはもちろん簡単なことではないのである。毎日本を読んでも読んでもいつもAさんに負けていた私は諦めそうだった。しかし、両親の応援のおかげで私は勉強をやりぬいた。机の上でめがねをかけ、ばなしで眠ったこともある。努力は裏切らないと信じ、最終的にAさんに勝って、私はその目的を果したのである。勉強は諦めず、続けることが一番大切なのである。それに怠惰は許せないものだと考えよう。後には何があるか誰も知らない。早く諦めると「戦争する前にもう負けた」というインドネシアの諺と同じである。諦めることなしに

努力すれば、必ず各自の番が来るに相違ない。

これが2つ目の大事なことだ。

その頃私は5時間しか睡眠できなかったの  
である。それは宿題なり勉強なりに追われて

いたからである。親も心配し、「寝る時間を  
守りなさい」といつも私に注意した。とはい

え、1位になるように、復習や予習をせざる  
を得ない。Aさんに負けるわけにはいかない。

そのことにより、私は時間の大切さがわかる  
ようになったのである。時間は大事。時は金

なり。勉強ということは決して時間を無駄に  
しないこと。これが3つ目だ。

4つ目は集中すること。勉強の際に余計な  
ものを遠ざけるべきである。勉強に関しない

ものは勉強に邪魔を及ぼし兼ねないのである。

携帯電話やゲームなどは安全な場所に置き、

勉強に集中することが一番大切である。

そして最後に、5つ目の基本は勉強は誰で  
もいつでもどこでもできることである。子供

からお年寄りに至るまで勉強が続けられる。

そして勉強は本やインターネットに載った情報に基づいて習うことだけではない。逆に勉強のし方は無限だと思う。他人を真似したり経験して習ったりすることも勉強だ。あと、小さなことでもなめてはいけなないのである。丁寧に扱えばいい勉強になるのである。皆さんも勉強を勘違いしないように上記の5つのポイントに注意して勉強してみてもどうだろうか。